

有宵会だより

第54号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

十二月・一月の運勢

気学では子十二月
十二月七日（大雪）節入

生氣

3	8	1
2	4	6
7	9	5

破
天道

一月六日（小寒）節入り
気学では丑一月

天道

2	7	9
1	3	5
6	8	4

破
生氣



一 白水星の人の運勢

十二月筮一 天風垢の上九
一月筮一 山地剝の上九

平凡に見えても慌ただしさと手違い。仕来たりは古さを守り無事、交際は腰重く早目の処理、金運は強いが欲張るとこじれやすい。冬休みのプラン賛成。疲労回復、風邪気管支、歯の手当てなど。一年を迎え今年は和合へ絆を固めて招福を得る心がけ。一月は何事も無理せず安全策でいく。仕事からみの金銭は不利、温度差から咽喉咳、足腰皮膚、寒さと冷え症対策。

二 黒土星の人の運勢

十二月筮一 地沢臨の初九
一月筮一 風地觀の初六

年末の活況と前向きの方針で進め吉。先走った提案は不調柔軟に改める仕事は得意の几帳面さで信用を高める。忘年会は主役のつもりで楽しむが支出増。体調は気血不調ストレス、腓や下肢痛。

一月は安定運です。生活は無難に力以上のことをしない。家庭と愛情は静かな心配りと身内の交際が重なる。新年は漸進将来への準備や再建です。流感、頭痛、腸満等用心。

三 碧木星の人の運勢

十二月筮一 天地否の初六
一月筮一 山天大畜の初九

忙中閑あり、意外な来客あり見栄張らず心のもてなしを。半信半疑な情報に惑わず信念を貫ぬく。継続中の仕事は終りなく。適当な仕上を。金策は付く。流感、胃腸疲れ、食品や薬の副作用など用心。一月はどっしり構えて急がずに。わが家に人集まれば福運。貯蓄心と用事は取り零しなく。本年は正攻法で道を拓く方針です。食欲あり過食、神経疲れ、肝胆のチェック。

四 緑木星の人の運勢

十二月筮一 天雷无妄の初九
一月筮一 沢地萃の上六

年末は予定外の用事に

戸惑うが焦らずに進める。何事も聞く耳あれば好感もたれ人気高。業務は失着に恐れず手順通りに処置、プライベートの口外は禁物。生活の不規則、胃腸のもたれ、風邪対策。

五 黄土星の人の運勢

十二月筮一 離為火の九三
一月筮一 風沢中孚の九五

好調な時ほど他人に施す精神、気力と粘りで運氣を盛り上げる。公私の区別をハッキリさせていく交際。ストレスを溜めずに早く処理。金運は安策で無事。気管と肺、発熱、循環器系の用心。正月はスッキリと快適で安心。常識のある言論で説得、親子や夫婦の絆を固く。新年からは公私に多忙で改革の時機を待つこと。口腔と歯、咽喉風邪、打撲と筋肉痛など。

六 白金星の人の運勢

十二月筮一 水火既濟の六四
一月筮一 雷地豫の九四

十二月筮一 雷地豫の九四

世話事が多く何かと疲労困憊、回復には家庭の団欒です。本業一途に他に手を出さず。対人面は深入りの負担と失言が痛し。家事整理に骨折るので簡単に。年末は体調の変化、胃腸、血流に注意。

七 赤金星の人の運勢

十二月筮一 兌為沢の九五
一月筮一 天火同人の六二

気楽さで公私混同がありそう。心身のリフレッシュで頑張る。交際内容を選ぶ、金銭浪費と忘れ物に注意を。新規の予定をさけ既存の仕事や家庭に善処。関節や筋肉痛、咽喉、皮膚、食道部用心。正月は社交頻繁でも見栄を張らずに。計画は望み叶うが文書の要点検と難問解決の可能性あり。本年は心弛めず目標に向けて努力を忘れずに。目歯、循環器、足腰痛手当。

八 白土星の人の運勢

十二月筮一 風地觀の九五

一月筮一 火水未済の九二
暮の忙しさをミスが出るので注意深く。日頃の長所を上手に活かし朗らかに。短気は損気にならず寛大に。メール文は誤解を避け慎重に表現。金銭の計算ミス注意。風邪熱、肩腰の凝りと怪我。

九 紫火星の人の運勢

十二月筮一 沢山咸の六二
一月筮一 雷風恒の九三

一年を振り返ると多事多用、苦あれば楽ありで無事。何事も守りを固めた好結果。今月は下からの支えて女房役あれこれと多用。何事にも気遣いを予定変更の困惑さ。疲労、足腰、血行不順。

一月は家庭中心に過ごし気長さが大切。物事は火中の栗を拾わぬ用心。温故知新の知恵と今の習慣を守り安全。今年は願いの実現を期待したいもの。体調は胃腸の張り、皮膚、アレルギーの対処。

福田 有宵

九月有宵会報告

清水 允冬

九月二十九日(土)足立区こども家庭支援センターにおいて、岳易館・有宵会の勉強会が開催されました。司会進行は佐藤宗眩先生です。



一部は、福田理事長のご挨拶と、月筮です。二部は、日向山仏舎利平和宝塔主管の功刀貞如(くぬぎていによ)様のご講演です。

第一部

「今月のご挨拶と、月筮」
理事長 福田 有宵先生

福田理事長より、九月十八日と十九日に会津の観音様巡りに研修旅行をし、四〇名のご参加。皆で心からお参りできることの幸せを感しました。お宮様、お寺様をお参りし、その後にご住職のお話を聞いたり、由来を

聞いたりしました。こうして見聞を広める。また観音様のお告げを聞きながらまわりました。仏教の地として、会津以外では、鎌倉、平泉等が挙げられます。途中、いわき市役所ではNPO法人として15万円を数名の有志の方から

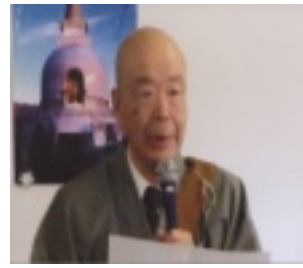
2通りあり、一つは市内の団体に任せるか、もう一つは直接現地の被災者の方々へお渡しするものがあり、後者の直接、被災者の方々へお渡しする方法としました。その後、津波被害が大きかった塩屋崎へ見学に行きました。今は、現地の海は変わらない。しかし、周囲の被害状況を目の当たりにし、自然の厳しさを実感しました。その場で、皆で鎮魂のためにお祈りを捧げました。

平成24年は、6白。10月は、6白(年月の揃い：今年の年回りのものがでる)。11月は、5黄。一白から、九紫まで順番に二ヶ月分の状況説明を

お聞きしました。詳細は、有宵会だよりの一面をご確認ください。

第二部

「世界人類に平和の大明光を」
功刀 貞如(くぬぎていによ) お上人様



功刀先生は、1934年に山梨県のお生まれで、東京の教育大を卒業後・立正大学の大学院大学院をご卒業。そして身延山にある日蓮宗の元布教部長。現在は、山梨県市川三郷町定林寺院首、日向山仏舎利平和宝塔主管、学校法人定林寺立正幼稚園理事長、社会福祉法人宝珠苑福祉会理事長、月間布

教紙「宝珠」主幹であられます。24歳の時に住職となり、50年住職をして息子に譲ったのが一昨年のことです。日蓮宗では、住職をやめると院首となります。しかし、仏舎利塔を建てた責任上、生涯運営をしたいので主管をしておられます。

今回のご縁は、一昨年、福田先生が日向山の大祭に数名の方々と来られたのがきっかけでした。宝塔は、白亜色 しかし、檀家の方にカメラが趣味の方がおられて、その方が撮った宝塔の写真が、ピンク色でした。とても印象に残る綺麗な写真でした。

ピンク色 太陽が出る瞬間の ご来光時の仏舎利塔は、真東を向いている。



功刀先生曰く、「ピンク色は、愛の色」「私たちは、愛の力に生かされている」とても印象的なお言葉でした。

1. 日向山仏舎利平和宝塔第25周年大祭

この仏舎利平和宝塔ができて、今年で25周年。大祭が平成24年10月28日にあります。

裏山に歩いて約一時間の道のりです。その祖師堂は、日蓮上人の弟子。日持上人ゆかりの祖師堂があります。

若気の至りとして、急性腎臓炎 慶応病院入院になる。(23歳の時) ベッドで卒論している時に、先生に安静に寝ないと死んでしまうと云われたのがショックだった。

その時、七面大明神をお祈りした。元気になったら宗教家(僧侶)になると祈った。七面様のお役に立てる宗教家になる。その決心をしたのは、病気のおかげだった。

24歳で、住職となり、

七面山は、定林寺が4年に一度回ってくる、当番寺である。七面山には、奥の院と、本社がある。

2. 日当山祖師堂 昭和20年 解体、昭和21年 父遷化

そして、山口県の吉村妙厚法尼さんとの出会いがきっかけで日向山の復興を誓った。

3. 日当山で元朝(がんちょう)のご来光を拝む会・最初は3人から始まる。世界平和・日本平和・私たちの年中安泰

元朝のご来光を拝む会は、3人から始まり仏舎利塔が出来る時には500人になった。はじめは、3人の奥様方から始まった。どんな時でも、まず3人集まって、はじまればなんとかなる。当時30代のころ、首掛

けお守りを100個を自分たちで手作りで作った。また、日向山で山火事があつたが、お山の神様のお堂の内側だけは、無事だった。

・川西勝さんは、うちわ太鼓を作つて奉納してくれた。
「よく生きる、真面目に生きる、功德をつんで生きる」

「よく生きることは、よく死ぬことだ。」

日蓮宗では、どうして太鼓を打つのか？
魔を打つ。極楽浄土では天で鼓がなつてい

る。
4・日蓮聖人のお悦びになること
・釈尊の教え
(1) 人間は何のために生まれて来たか。
(願生) 平等
(2) 人間はいかに生きていくべきか。(我深敬汝等) 慈悲
(3) この世界はどうあらねばならないのか。(浄土) 平和

5・藤井日達上人に随行してヨーロッパへ(昭和58年)

ウィーン道場での日達上人の法話 如説修行
「この経は、持ち難し、若し暫くも持つ者は我れ即ち歡喜す」
(法華経)

ウィーン仏舎利塔落慶式に2千人の参加者
吉田上人の偉業 奇跡の連続
パリでの決意 ロンドンでの日達上人の教訓
(世界平和のために生きる)

6・日向山仏舎利平和宝塔建立奉賛会発会式
浄財の勧募し、寒修行を行い土地を買収し、電気・水道施設を整備した。昭和60年の地鎮祭を行い、61年に引渡し式、62年には仏像・祖師堂・水道・落慶式

「変化の人を遣わして、これがために衛護となさん」(法華経)

7・落慶式
・仏舍利
・法華経一部
・天然真珠368個
世界13カ国、大使夫妻、家族、2千人の随喜

参列

8・世界平和・核兵器廃絶を祈る唱題運動(平成11年4月より)

・世界万国戦争犠牲者万霊供養塔の建立(平成14年)
・仏陀ホルルの建立(平成17年)
・平和の鐘の造立(平成20年)



ご講演時の終盤に、このようなエピソードがありました。本会員のお母様が、毎年身延山にお参りに行つておられ、御朱印を頂戴していたそうです。その中に当時、身延山に居られた功刀様が書かれた御朱印がいくつか見受けられました。この会において再びご自分の書かれた御朱印を拝見するというのはとてもご縁のあるめぐり合わせだと思います。

また、私自身が感じたのは、功刀先生が思い描いていた構想があり、途中

人との出会い、つながりがある。その想いを達成するためのきつかけがいくつもの場面であつた。これらのことがひとつの道筋として繋がることで、大きな目標の達成につながつていくんだと感じました。



旅行で出会えた

神様たち
若林 シマ

かや葺きのお寺・立木観音(千手観音)を訪ねた時の事です。福田先生が挨拶のつもりで入口へ伺つと、拝観料を払わなければ中へは入れてくれないとのことだったそうです。もしかすると、観音様は、怖い顔をしていらっしゃるのかなと思われたのですが、立木観音さまは、ほほえみを持つて静かに迎えてくださいました。私はこの話を伺つてお坊様は、両脇を守つていらつしやる二十八武

衆の姿だと思ひました。寺をお守りし存続させることの厳しい状況を化身させているのではないかと思ひます。実際は、ひな壇に等身大と思われる迫力あるお姿の脇侍二十八武衆が睨みを利かし圧倒されました。さらに見上げる遥か天井近くには、風神、雷神と会津の地にこのような神々がいらしたことに驚きを隠せませんでした。

まずお堂の中に入ると目の前には、奥にいらつしやるであろう観音さま、武神たちのお姿の絵の描かれた斗帖と呼ばれる大きな緞帳(どんちよう)がかかつていました。秘仏拝観とはこのようなものだろうと思ひ、斗帖の奥においてになる観音様の手を合わせました。お説教の後、立ち上がつて抱きつき柱に私は額を当てて念じました。心願は目下、工事が遅れている建築の事です。「すんなり家が建ちました。ありがとうございます。ありがとうございます。」(早計ではあります。)(早計ではあります。)(早計ではあります。)

顔を上げた時の事です。

脇の柱から中央にいらつしやる八、五メートルの観音様と私の立ち位置がよかつたのでしょうか、ちよつと目が合いました。「そうですよ。私は立っています。こうして根を付けて立っていますよ。」勸違いかもしれませんが、そう聞こえました。それから千手観音に近づき足元の台座に抱きつき、そして守つていただくよう念じました。立木観音は根を付けたままの大木からお姿をお作りしています。私の懸念している、地下を掘る作業と高さをめぐむ問題で工事が滞つていたことと、いただいたご朱印の字が上下に突き抜けていたことが重なつて不思議に思ひましたが、願ひは通じているものと感じました。帰路に着いた後、役所から早く工事を始めるように後押しを指導もあり、観音様が見守つてくださっているのではと思はずにはいられないことが次々と起きてきました。御仏縁をいただくとはこういう事かと思つのです。





中田観音(十一面観音)・弘安寺は、野口英世の母

シカさんが、三十キロの行商ののち、十キロ先の中田観音まで参ったといわれるお寺です。ご住職の今どきの話、辛辣な中にも愛のあるお説教は印象深かったです。更にそこでいただいたご朱印帖の中に十句観音経が納めてあり厚い信仰を感じました。十句観音経は短く簡単で私にとつては祖母から教わったとても懐かしいお経です。嬉しい記念となりました。

三観音、三か所の鳥追観音では、笑顔いっぱい素敵なご住職にお会いしました。何か皆さんの中に願いはありますかとの問いに、直ぐにどなたかが被災された方々への復興を願いたい、と言われたのを聞いて有宵会の方々の意識の高さを実感し私も見習いたいと思いました。

それから最後に、おわびと報告をさせていただきます。私は、福島県いわき市に義援金を寄付する席に同行させていただきました。ZOO岳易館 有宵

会からのものだと思います。福田有宵先生、田中元庸先生を主とした12名の個人的な寄付であったことをのちに知りました。誤って伝えてしまった経緯もあり、ここで改めて深くお詫び申し上げます。

立ち寄った庁舎は、ひびが入ったままで、その後バスから見た塩屋崎の光景の中には中学校の校庭全体が二階まで持ち上がったように大量の瓦礫が山と積まれていました。瓦礫の中からボロ布がびらびら風になびいていて時間が止まっているように胸が一杯になりました。今回、有宵会の一員として会津の地を訪ねたことで、三か寺のご住職にお会いしそれぞれの地で貴重なお話を伺えたことは素晴らしい経験となりました。そしてお会いした観音様はみな凛として美しいお顔をされていたのが印象的でした。また、

復興を願って会津・福島を訪ねることの意義を改めて実感しました。



第三十九回

まつど祭り

鑑定会

平成二十四年十月六・

七日の両日恒例のまつど祭りでの鑑定会を有宵会として参加致しました。

六日吉田先生を始め前野・濱野・久保田・樋口・長沢・佐藤の各先生方。七日は半田先生始め牧野・河野・山内・八川・岩崎・伊藤の各先生方が活躍なさり、延べで三百二十七名の方々が鑑定させて頂きました。例年の事ではありますがお疲れ様でした。まつど祭りも参加年数も二十年を超えたそうです。占例をお寄せいただきましたので掲載させていただきます。



鑑定からの学び

半田晴詠

去る十月七日は、恒例の松戸祭鑑定会でした。今年も沢山のお客様になるのではと思いつながら前夜に立籠りし、得卦は天風姤の上九。

当日朝は冷たい生憎の雨、お客様も雨で足止めされたのか十時前には少人数でしたが、昼近くには雨も上がりやはり長蛇の列になり、姤の教えを心して気合いが入りました。終了五時迄に、今年来年の運勢四名、病気の治療と病院の方位二名、配偶者の健康運五名、離婚問題三名、恋愛、結婚の相性三名、仕事運二名、留学の方位一名、家の購入と移転方位一名、姑との問題一名、嫁との問題一名、転職に関して一名、配偶者の不倫問題一名、相続問題一名、手相のみ子供一名の計二十七名、全て日常に起こる様々な事柄

でしたが、その中で四年前にいらしたご婦人は「病気を判断して頂き、検査に行き手遅れにならずに今年も来ることができました」と毎年の鑑定書をバッグから取り出して話され、共に喜び合いました。私自身開腹手術を二回していますので、病人の辛さが痛いほど解ります。来年もこの方が元気で来られることを願いながら、鑑定書を差し上げました。占いは、依頼者と鑑定士が何かの縁で繋がっているようで、自分の思いや状況など通じ合う内容が多く、鑑定後に穏やかなお顔になられる時、私も安堵し自分への教訓なのかと思うことがあります。無料鑑定会は、お一人十分位の短時間ですが、人生を左右する責任のある仕事ですから相手の立場になって、光を見つけて出す言葉かけをし前向きになれるように、神経を集中する私の実践業でもあります。終了するとホッとすると共に、まだまだ勉強と思う自分がいます。私も毎年の運気の導きと吉方取りにて神仏のご加護を頂きながら、占術の奥を深め

来年も元気に参加させて頂くことを願う一日でした。有難うございました。合掌

第39回松戸祭に参加して

山内 視保子

松戸祭りの2日目の10月7日(日曜日) 朝から雨、電車の中で 福田教室で受講した手相を鑑定に少しでも生かそうと頭に詰め込んでいて、気がつくとき駅を3つも乗り越してしまいびっくりしてあわてたために覚えた手相が一気に頭から消えてしまった。松戸駅に着くと雨が降り続き待っているお客様は4、5人であった。10時から鑑定会が始まるとお客様が並び始める。まず昭和40年6月25日生、47才の女性で本命8白、月命7赤、乾宮傾斜。今年6月バックのデザインの仕事に就職、将来独立したい。今までその仕事をやってきているが、今、高校一年の子供が大学に行つてからと考えている。あまりに遠い先だと年齢的に体力がもたないが、いつごろが良いか?子供が大学に入る時期を見て、年盤を順次見てゆく。平成27年は3中で、

本命8白は坎宮回座し、本命と月命が対沖にいて健康面でも控えたほうが良い。平成28年は2中本命に暗剣殺がつく、平成29年1中は本命が震宮にいて歳破つき、平成30年9中は本命が巽宮で本来ならとてもよいが戌年で歳破がつく。平成31年本命8白は中宮に行く上に月命7赤が歳破つきとなる。平成32年7中となり月命が中宮であるが、本命が乾宮で活気があり他に障りもないのでこの年の独立を勧めた。平成32年は55歳となり、これ以上後になるのも難しくなるであろうし平成33年は6中で月命に暗剣殺がつく、なかなか良い年にめぐりあうのは難しいですね！



もう一件ご紹介します。昭和8年3月10日生79才男性、本命4緑月命7赤坤宮傾斜、健康について平成23年3月初期の認知

症を発症（会社は平成22年11月退職）今は年齢的にあちこち痛みがきていますが、認知症以外特に他には病気も無いという。本人がおかしいのではと自覚してお医者様に行かれたというので、こちらから見ても話し方もお元氣そうで前向きの方、ただ年月など数字を思い出すのに少し時間がかかるが、それもさほどではない。健康についてはいろいろな事に興味をもたれて家の中に籠ることなく外出されるよう一般的な話をした。夫人も認知症で家に引きこもりがちだという。

松戸祭りも夫人は外出したが、松戸祭りの主人一人て来たとの事。なるべく奥様に声をかけて見聞を広めるためにも一緒に外出されるように話をし、来年は本命巽宮月命兌宮に回座のため風邪をひかないよう、また肺など呼吸器系統に注意されるように話をします。今は認知症以外、特に他には病気も無いが気をつけます。と納得して帰られたように思います。認知症のご夫婦の生活が、これからも平穩であるようにと願

わずにはいられませんでしたが、これからのこの問題が増える事だろうと思いつながら、次の方の鑑定を進めました。午後には雨もやんでお客様は長蛇の列、中には待ち時間が長いと文句を言われるお客様もいていつもながら賑わった鑑定会でした。



「松戸まつりのイベントに参加させていただいて」

前野 佑林

去る二十四年十月六日（土曜日）は、朝から良いお天気に恵まれ占い日和となりました。当日は十時から始まるので、呑気にトコトコ出掛け、ギリギリに到着した私はさあ大変。既に始まっているではないですか。慌てて荷物を置き、並んでいらっしやる人達の整理券を引き受けました。

たので、どうやら私にも少しは先生方のお役に立てることができたかな？と思っております。無料鑑定会は例年のごとく大人数で、先生方も大忙しです。無料鑑定会とはいえ時の経つのも忘れ、相談者の言葉に、一心に耳を傾けられていた先生方のお姿に敬意を抱きました。私の出番は吉田侑加先生のはからいで交代していただきました。鑑定した人数は合計15名でしたが、健康のことや子供との同居の話。彼との問題に悩み相談にいられた等。キツチリ片を付けた

いとと言う意味では、壬辰六白金星の象意を表しているのではないのでしょうか。今年「立つ、断つ、発つ、経つ、建つ」目標の設定と実行の年といわれます。ここで、鑑定したほんの一部分の命式をご紹介します。昭和三十二年六月三十日生れの女性からの相談。同居している男性が働かず、食費さえも入れてくれない生活に困っているとの事。この問題は占う以前の問題であり、一人悩み泣かれていました。彼との相性は二十七

宿では恋人星です。最初はお互い惹かれるものもあつたのでしょうか。しかし、七赤金星は本年乾宮にて暗剣と破持ち。相談者の日干支は癸酉。彼の日干支である庚子とは破の関係です。沖よりまだ救われる相性ではありませんが、苦勞を自ら背負っている事を認識させ、一日も早く結論を出す方向で納得させたのは私の苦い経験からでもありません。此の程の男性は楽天家で厄介事には目を背ける傾向があります。私の助言が彼女の未来にプラスになる事を願いました。



「まつどまつり」鑑定会の占例

伊藤璃香

十月七日（日）、昨夜来の雨で人通りも少なく、求占者もチラホラ、お昼近くからの本格始動となりました。最初の方は昭和九年三月生れ、年一白月七赤の母親と、五六年

四月生れの娘さん、年一白月六白、二人は顔を合わせる口喧嘩が多くなるのでどうしたら良いかの相談です。親子の相性は悪くはないが、考え方や生き方が違うようです。親は子を思うがゆえの過干渉、親は兌宮に暗剣破れが付き、言い方の問題がある。娘は結婚して子を産み自立しています。親の生き方を押し付けていないか、親の幸福観と子供との違いを客観的に見て一人前の大人として対応して欲しいと、寛容の心での聞き役に回ることを勧めました。

二人目はアメリカ力西海岸移住希望の女性。昭三七年三月生れ、年二黒月六白。易の得卦は雷水解の初爻です。アメリカの方位は東北、今年に残り少ないので十二月に状況調べに渡米の様子を見る。来年に行ったり来たりしながら居住地等の下見をする。永住は二六年六月としたりどうでしょうかと答へ、永住なので慎重に、又来年この鑑定会でゆくり拝見しようかと伝えました。数十件の鑑定の中から



最近よく耳にするのが母娘間のトラブル問題、嫁姑ならお互いに少しは遠慮がありますが、母と娘となると入り込み過ぎると嫁姑よりひどくなるということ。
 本来は親から子へと伝えて行かなければならない基本的な事が疎かになり、細かい事柄ばかりに干渉が多くなっているようです。
 アメリカ移住希望、いつ行ったら良いか？女性一人での移住、慎重にして欲しいと思います。毎年世相がわり相談事が多様化、複雑化しています。自分の観る世間は限られていてまだまだ知らないことばかり、相談を受け違う世界を知ることが出来ます。貴重な勉強の場として感謝の念を覚えながら鑑定を終えました。

松戸まつりの占例について

岩崎紀子

今年の鑑定の中で印象に残った方についてご紹介いたします。
 つたない占例ではございますが、ご容赦くださるようお願いいたします。

お母さん（本命1白、月命3碧）が、高校3年生になる娘さん
 （本命6白、月命9紫）

のことで、最近、娘さんと上手くいかず、どう付き合えばよいかというご相談です。娘さんは今年大学受験を予定しているが勉強はしておらず、休日も家で寝てばかりいる。なんだか1人もんもんとしている様子で、今年初めくらいからこのような様子は見られたが、特にここ最近顕著になってきている。

お母さんが「浪人するの？」などと注意をすると怒るし、また、本人は学校へは行っているが、朝、「着ていく服がない！」（制服がない学校だそうです）とヒステリックになつて怒ったりするそうです。お母さんは、「以前の娘は家事を手伝って

くれたり、いろいろと助けてくれたのに・・・」と元気がない様子。

私は、「受験期ってみんなイライラするのは・・・」と思いつつ、次のようにお話ししました。お母さんと娘さんの相性は良く、お母さんは子どものため

にいろいろとしてあげ、娘さんもそれに応える。今年の娘さんの運氣から見て、受験のため、息苦しく感じており、勉強も自分の思うように進んでいないのではないかと。

娘さんは本来、ヤル気・向上心があるので、現在このような状況の「がんばれない自分」にもイライラしている。

お母さんには、娘さんは物事の良く分るお子さんなので、冷静に親の意見を伝える（浪人となつた場合のことも含めて）、意見を言う回数は少な

くする。ということ、お母さん自身、お子さんのことに対しては心配しすぎてしまう面があるので、1人で考え込まないようにお伝えし、終了しました。反省点としては、相手の話を聞くより、こちらの

方が話をしてしまいました（いつもなんですが・・・）世の中のお子さんが全員、「受験」でイライラし、ヒステリックになる訳ではないので、この娘さんの場合、何か他にも原因があるのか、また、家族とのコミュニケーションの詳細など、もう少しお母さんに聞いてからの方が良いお話ができたと思

いました。以上なのですが、当日はとても勉強になりました。福田先生、ご一緒させていただいた先生方、どうもありがとうございました。



NPO通信

左記の方々から寄付金を頂戴しました。（敬称略・順不同）
 磐城喜代子・龍妹・三雄商事（高田 糸）・千葉一理・前野佑林・半田晴詠・八川林加・岩崎紀子
 有難うございました。



事務局だより

次回の例会

日時 平成二五年一月二六日（土）午後一時一五分より
 場所 「足立区こども家庭支援センター」（例会後 新年会を予定）

講義 福田有宵先生
 「平成二五年度 年筈、一年の見通しの解説」

平成二四年の有宵会もつづがなく終了しました。

・恒例の研修旅行（会津・ころり三観音様）は、好評でした。

また二月

の松戸・本土寺様、四月の江戸五色不動尊様へのお参りも俣ばれます。「お酉さま」には今年も百数十名の方々が参拜。世界の平和、日本の安泰、各家庭の幸福、個々の願いなど、それぞれを祈りました。

今年も思い出がたくさん出来ました。
 ・平成二五年二月頃に初詣を予定しています。一緒に参りしましょう。（日時・場所は検討中）

少し早いご挨拶になりますが、皆様お元気で新しい年をお迎え下さい。九月の例会には、七一名の方が参加されました。一年間 有難うございました。

事務局 伊藤 璃香

編集後記

本年もお世話様になり有難うございました。来年もまた皆様方からのご投稿をお待ちいたしております。

編集局